

汎用型保護・制御ユニットを適用した保護リレー装置

# 保護リレー装置の 低価格化・納期短縮に 役立ちます。



電力用並列コンデンサ  
保護継電装置



汎用型保護・制御ユニット

背景・目的

- 保護リレー装置の「低価格化」および「納期短縮」を目的として、汎用型の保護・制御ユニット (IED※) を適用した保護リレー装置を開発しました。  
※IED: Intelligent Electronic Device (国際標準であるIEC規格に準拠)

特長

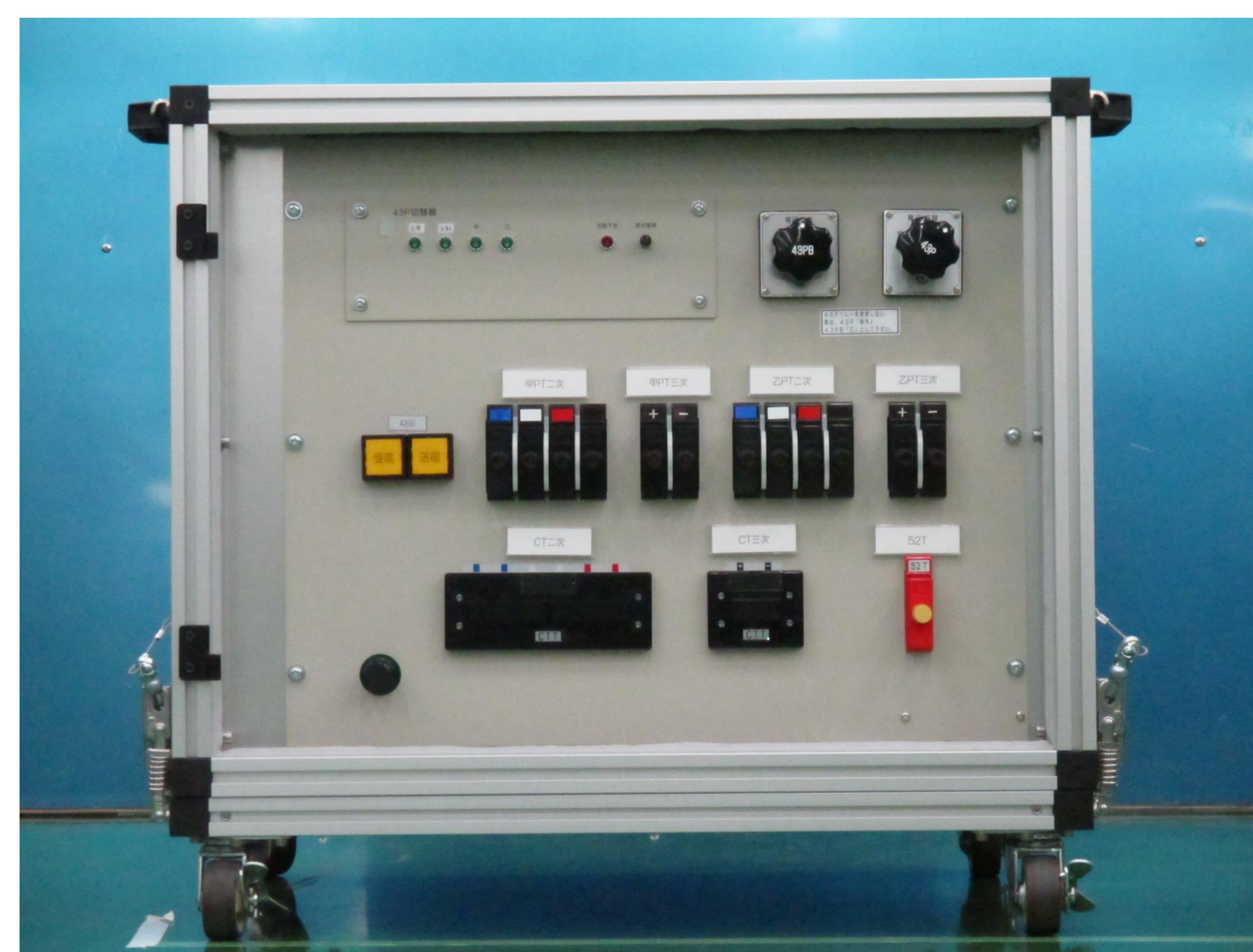
- 仮リレー箱
  - ・コストダウン率: 従来比30%, 納期短縮: 3.5か月
  - ・運搬時に分割可能であり(2箱構成), 小型・軽量化により可搬性向上
- 電力用並列コンデンサ保護継電装置
  - ・コストダウン率: 従来比10%, 納期短縮: 1.5か月

用途

- 装置の購入・更新時における低コスト化および短納期化が図れます。
- 仮リレー箱は、送電線保護装置の修理・点検などにおいて主回路(送電線)を停止できない場合、既設装置に代わって保護を行う装置です。
- 電力用並列コンデンサ保護継電装置は、変電所に設置するコンデンサの保護を行う装置です。



仮リレー箱1 (メインリレー箱)



仮リレー箱2 (補助箱)

開発者の  
ひとこと

海外製の汎用型保護・制御ユニット採用にあたり、従来の仕様を見直すとともに、保守・運用面で支障がない等の確認・検討に尽力しました。検証試験を繰り返し、ハード・ソフト面で改善を重ねることで、本装置が開発できました。